

令和4年度 第3回学校運営協議会会議録（報告）

記録者：副校長 西里 孝義

事務長 佐々木孝幸

1 日時 令和5年2月20日（月）14：00～15：30 学校運営協議会

2 場所 大会議室

3 出席者 9名／15名（学校運営協議会委員）

澤 藤 耕 平 様（退職校長会和賀会事務局長）

小 原 享 子 様（北上市議）

関 上 哲 様（富士大学 経済学部教授）

小 原 和 雄 様（北上コンピュータ・アカデミー校長）

高 橋 樹 久 様（部活動指導員（鬼剣舞部））

菊 池 富士子 様（医療法人社団敬和会事業推進室室長）

<学 校>

校 長 寒河江 和 広

副校長 西 里 孝 義

事務長 佐々木 孝 幸

4 次第（進行：副校長）開会の前に配布資料確認の確認をいたします。

○開式のことば（副校長）本日は6名の委員の方が所用のため欠席しております。

（1）校長挨拶

本日は、お忙しい中、皆様に御出席いただきましてありがとうございます。また、日頃から本校の教育活動に御理解と御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。本日は、インフル、コロナ濃厚接触など様々な理由でこのような人数です。「しっとりんご」は、本校のりんごを使用し家庭科で制作したものです。どうぞご賞味ください。

（2）議事進行：会長（澤藤）が議長となり議事を進行。

それでは、学校評価について校長先生お願いします。

校長：学校評価に入る前にA4版の学校経営計画の数値目標達成度について説明します。

1枚目の緑色の部分をご覧ください。

ア. 70%→79.8%、イ. 80%→96.9%(うちボランティア参加41名)、ウ.30人以上→36名(これから多少増加します。)エ. 30回以上→94回 とそれぞれ達成できています。オ.については、現在未達成となっておりますがこれは、いじめ認知が無くなってから3ヶ月後に確認し、何もなければ解決となるため、3月末には「ゼロ」となる予定です。

p3学校自己評価について、1もありますが概ね4を超えています。高大連携については、富士大学との連携により4.5と高くなっています。

p4生徒アンケートについて

生徒の勘違いもあって、13～17は該当者以外も回答しています。(3年次のところが、1・2年次が回答している等)

p5保護者アンケートについて

「こどもは学校のことをさっぱり話さないの、このような質問をされてもわからない」という方も多いようです。全体的に3.7～3.8程度に収まっています。学校にとってどこが改善点かよくわかります。

保護者へプリントを流しても渡らない場合があるのでメール一斉配信によりプリントを配布した旨を通知しています。

p 6 授業評価について

各学年の各教科の評価が 40% っていない評価もあります。教科によっては複数の教員が担当している場合もあり、教員を特定できない場合もあります。全体的に見て本校生徒は、理数科目が得意でないことがわかります。商業科目など高校で初めて学ぶ教科は慣れてくれば分かるようです。これは生徒からの真摯な回答なので先生方も良くデータを見ています。

p 7 以降は、今までの評価をグラフ化したもので、青とオレンジはポジティブでそれ以外がネガティブな回答となっています。

p 14 をご覧ください。生徒からの自由記述となっています。
なるべく生徒の意見を取り入れながらやっています。

p 15～16 について

保護者からのコメントは、今年は率直にすべて載せました。記述のほか、電話で意見をいただくケースもあります。生徒と保護者のコミュニケーションが取れていないかもしれないと感じるところもあります。

p 17 担当教員には、説明している。

p 18～p 23 校長通信について

p 21 は短歌、p 22 は卒業研究発表会についての通信です。富士大学との連携では大学の先生方から協力をいただいています。p 23 はラッピング技術講習会、フランス料理講習会とプロの技術を学んだ内容となっています。

【意見・質問】

菊池富士子さん

分かりやすい説明でした。厳しい評価もあるようですが、p 5 の保護者評価、回答率 95.4% は高い値だと感じます。

関上 哲さん

大学と連携いただき感謝している。

私達は、知見を指導している。難しいことを分かりやすく説明する場を与えていただいている。高校との連携は情報提供をしている。素晴らしい実践を全国に発信していきたい。先生方の高大連携の評価が昨年度より上がっている。先生方に受け入れられていると考えている。

校長：総合学科を中心に高大連携をすすめている。以前は、先生方が外部へ出向き学んでいたが、これからは外部の方に直接学校にきていただき、生徒と先生が学ぶほうが理解が深まると考えています。

当校のように定期的に連携しているところは、少ないとのことなので、総合学科で発信する機会があるのでその際、連携について発信していきたいと考えています。

小原享子さん

研究内容が北上市の政策と結びついている。市民の若い層に翔南の生徒が入って発表されてもよい。

校長：本校生徒は、北上市に将来住みたいと考えている生徒が多いです。地域をよく考えていますし、地域課題解決策も考えています。この発表を 1・2 年生にも見せています。

小原享子さん

是非、他県でもあるように、高校生が議場で発表することがあってもいいのではないかと。

校長：総合学科の方でこれから考えてみます。

小原享子さん

学校自己評価について、ICT 機器についての評価が低い、どのような機器を使い取り組んでいるのか。また、家庭での進み具合はどうか。

校長：生徒はタブレット端末を使用しています。(県→公費 7 割、自費→3 割)

1 年生には公費で購入の端末を全員に渡しています。2・3 年生は貸出だったり、自分の端末を使用したり

しています。

Wi-Fi 環境はととのっています。

当校では学力差があるので、ベネッセの **classi** 学習支援システムを導入しています。中学校程度の学習動画から大学入試対策の授業内容まで見るができます。教員不在時に動画を見ることもできます。家でも学校でも見られます。しかし、教員の平均年齢が 50 歳で、若い教員は利用していますが、年齢が高い教員は利用度が低いと思います。今後の授業においては、タブレットを利用した内容になっていくことになりますし、将来的には、PC やスマホをもっと使った授業となるでしょう。

小原和雄さん

数年前まではスマホを出してはダメなどあったが、今後は利用することになる。

本校はタブレットよりスマホを利用したがる。保護者は、生徒と同じ土俵にいるか。

校長：保護者にも ID を配付しているのでログインすれば生徒の成績が見れます。県からは授業では PC 等を活用するよう指導がされています。ただし、SNS 等での教員と生徒の一对一のやり取りは禁止しております。保護者には一斉連絡で、活用しています。

高橋樹久さん

評価を見ると先生も生徒も満足しているのかなと感じます。

スマホで調べられるのであれば、紙の辞書は不要ではないか。

校長：辞書などスマホで調べられるものは、買わなくてもいいのではないかと教科には提言しています。

生徒も調べるときは、PC で調べているようです。キーボード入力のパソコンは主に商業科の授業で活用しています。

関上さん

大学では teams を使用しています。学生がその中で成長している。ただし、タッチパネルはできるが、PC のキーボードが苦手と言う学生は多い。

澤藤耕平さん

感心しているのは、生徒が授業がわかるとしている割合です。8 割もの生徒が評価しているのは、個人差に配慮しながら対応していること。科目にばらつきがあるので、授業の改善に生かしてほしい。

12 番総合学科の特色を生かした学びの実践をしていることについて、昨年より上がっている。先生方の取組の結果向上したと思う。

13 番HP は保護者の評価が低いのもっと保護者へ発信していくべきではないか。

p 5 の -0.4 下がった理由は何か。

校長：保護者の目に届くような生徒の主体的行動が見えていないかもしれません。校内では行動しています。

高橋樹久さん

翔南を知りたくて HP を見たが、note が出てくる。

校長：note を頻繁に更新しているので、HP を開くとすぐ note が出てくると思う。

小原享子さん

p 14 髪型について校則の見直し、対応はどのようになっていますか。

校長：生徒と一緒に検討しています。生徒の意見を取り入れていくこととしており、来年度 10 月の生徒総会で対応する予定です。

ウ. 意見交換

関上 哲さん

北上市は SDGs を進めている。目標値は客観的に見て取れる数値目標を定めている。

先生方も目で見えてわかる。継続してほしい。学校目標の数値化は難しいが。

エ. 諸連絡

校長：志願者数についてお知らせします。0.77倍最終 推薦7名、一般149名 156名

生徒確保が難しい。今年は花北も0.88倍。黒北や一関一も1倍を切っている。生徒が進学校を避けているのかもしれない。

委員から・・・山村留学や海外からの入学も考えてみては。

校長：貴重なご意見ありがとうございます。

○閉式のことば（副校長）